

後援会活動に参加して

『想う』

ながさか共働作業所を前身に当時の育成会の皆様方のご尽力により、平成九年四月「社会福祉法人風」三田わくわく村が開設されたと記憶致しております。開所式に私も参列させていただきました。開所当初より入所されている皆様方と、職員の方々が共に支え合い、助け合い、切磋琢磨しながら前進されご活躍されているお姿に頭が下がります。わくわく村のバスに出会う度、「ファイト」「ありがとう」と自然に声が出て私も自身も勇気と元気をもらいます。

風吹き渡る季節、
 今日も皆様方と一緒に社会の一員としてお仲間に入れていただき幸せに思います。「皆共に わくわく村で 助け合う 心に吹く風 薫風となり」

丹羽京子



わたしたちは 三田わくわく村を



『がんばれ 三田わくわく村』

これまでいろいろな方とお会いする機会がありました。障がい者雇用を推進する工場長さん、講演でお世話になった先生、作業所を立ち上げた保護者の皆さん…。どの方も優しくて頼もしい。そのパワーの源は何？もちろん、お人柄もあるけれど、障がいのある方や家族のみなさんが安心して

楽しく暮らせるようにという熱い想いだと思います。同じように三田市の地域に根差したわくわく村。その根っこが

もっと広がって、利用者さんや家族の皆さん、そしてスタッフの皆さんの笑顔の花が明るく優しく強く咲きますように…。

私も少しお役に立てるといいな。

三田わくわく村
 応援団の一人



応援しています！！

『三田わくわく村の応援団として』

「わくわく」という言葉にずっと心地よさを感じていました。水や感情が「湧く」様子を語源とするそうです。

先日、遺伝子研究で著名な村上和雄教授のドキュメンタリー映画を視聴した際にその「わくわく」に出会いました。村上先生は「いきいきわくわくしたポジティブな心が良い遺伝子をオンにする。」という仮説を証明するために数々の研究に取り組みられていました。

私はその研究内容に魅かれ、知らず知らずのうちに「わくわく」している自分に気づきました。

予測不可能な現代社会に「わくわく」という言葉は大きな力を与えてくれると感じます。これからもその「わくわく」と共に一応援団として歩ませていただきたいと思います。



才能でも運命でもない。人生を決めるのは、遺伝子の「スイッチ」だった！

生涯わくわくおじさん